

I 高齢者の人口

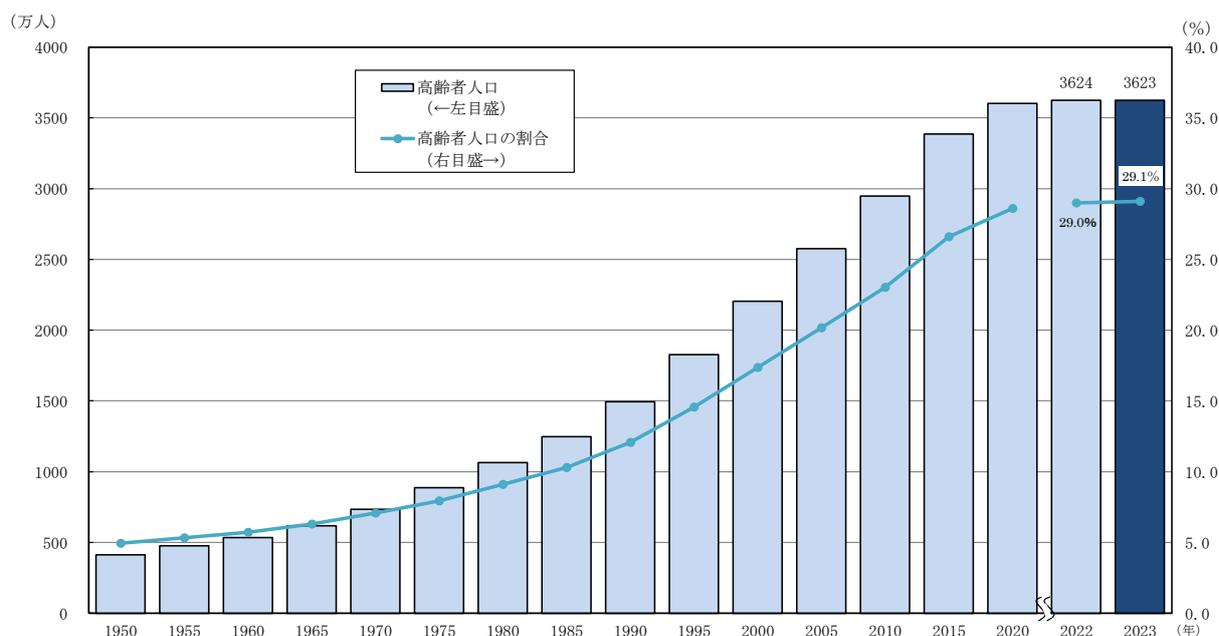
高齢者人口は 1950 年以降初めての減少
一方、総人口に占める高齢者人口の割合は 29.1%と過去最高

我が国の65歳以上の高齢者（以下「高齢者」といいます。）人口は、1950年以降、一貫して増加していましたが、2023年9月15日現在の推計では3623万人と、前年（3624万人）に比べ1万人の減少となり、1950年以降初めての減少となりました。

一方、総人口に占める割合は29.1%と、前年（29.0%）に比べ0.1ポイント上昇し、過去最高となりました。（図1、表1）

男女別にみると、男性は1572万人（男性人口の26.0%）で、前年に比べ1万人の減少、女性は2051万人（女性人口の32.1%）で、前年と同数となり、女性が男性より479万人多くなっています。また、人口性比（女性100人に対する男性の数）をみると、15歳未満では105.0、15～64歳では103.0と男性が多いのに対し、65歳以上では76.6と女性が多くなっています。（表1）

図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2023年）



資料：1950年～2020年は「国勢調査」、2022年及び2023年は「人口推計」

注1) 2022年及び2023年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

2) 国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補完結果

3) 1970年までは沖縄県を含まない。

75歳以上人口が初めて2000万人を超える 10人に1人が80歳以上となる

高齢者人口を詳しくみると、70歳以上人口は2889万人で、前年に比べ20万人増、75歳以上人口は2005万人で、前年に比べ72万人増、80歳以上人口は1259万人で、前年に比べ27万人増となっており、65歳以上人口以外の区分では増加傾向となっています。

なお、75歳以上人口は、前年に比べ72万人増加したことにより、初めて2000万人を超えました。この増加幅は、いわゆる「団塊の世代」（1947年～1949年生まれ）が2022年から75歳を迎えていることによると考えられます。

総人口に占める割合を詳しくみると、70歳以上人口は23.2%で、前年に比べ0.2ポイント上昇、75歳以上人口は16.1%で、前年に比べ0.6ポイント上昇、80歳以上人口は10.1%で、前年に比べ0.2ポイント上昇となりました。

80歳以上人口は、総人口に占める割合が初めて10%を超え、10人に1人が80歳以上となっています。

男女別では、男性の70歳以上人口が、男性人口の20.1%と初めて20%を超え、男性の5人に1人が70歳以上となっています。 （表1）

表1 年齢3区分別人口及び割合（2022年、2023年）－ 9月15日現在

区 分	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち							
					70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	95歳以上	100歳以上	
2023年												
人 口 (万人)												
男女計	12442	1421	7398	3623	2889	2005	1259	671	273	69	9	
男	6053	728	3753	1572	1215	798	461	216	71	13	1	
女	6389	693	3645	2051	1675	1208	797	455	202	55	8	
総人口に占める割合 (%)												
男女計	100.0	11.4	59.5	29.1	23.2	16.1	10.1	5.4	2.2	0.6	0.1	
男	100.0	12.0	62.0	26.0	20.1	13.2	7.6	3.6	1.2	0.2	0.0	
女	100.0	10.8	57.1	32.1	26.2	18.9	12.5	7.1	3.2	0.9	0.1	
人口性比 ※	94.7	105.0	103.0	76.6	72.5	66.0	57.9	47.6	35.4	23.7	13.7	
2022年												
人 口 (万人)												
男女計	12496	1451	7421	3624	2869	1933	1232	659	263	65	9	
男	6076	743	3760	1573	1206	764	450	211	68	12	1	
女	6420	708	3660	2051	1664	1169	782	448	195	53	8	
総人口に占める割合 (%)												
男女計	100.0	11.6	59.4	29.0	23.0	15.5	9.9	5.3	2.1	0.5	0.1	
男	100.0	12.2	61.9	25.9	19.8	12.6	7.4	3.5	1.1	0.2	0.0	
女	100.0	11.0	57.0	32.0	25.9	18.2	12.2	7.0	3.0	0.8	0.1	
人口性比 ※	94.6	105.0	102.7	76.7	72.5	65.3	57.5	47.1	34.9	23.1	13.7	
対前年差												
人 口 (万人)												
男女計	-54	-30	-23	-1	20	72	27	12	10	4	0	
男	-23	-15	-7	-1	9	34	11	5	3	1	0	
女	-31	-15	-15	0	11	39	15	7	7	2	0	
総人口に占める割合 (%)												
男女計	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
男	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	
女	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.3	0.7	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0	

資料：「人口推計」

※) 女性100人に対する男性の数

注) 表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある（以下この章において同じ。）。

総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみると、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、2023年は29.1%と過去最高を更新しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）に生まれた世代が65歳以上となる2040年には34.8%、2045年には36.3%になると見込まれています。（図2、表2）

図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2045年）

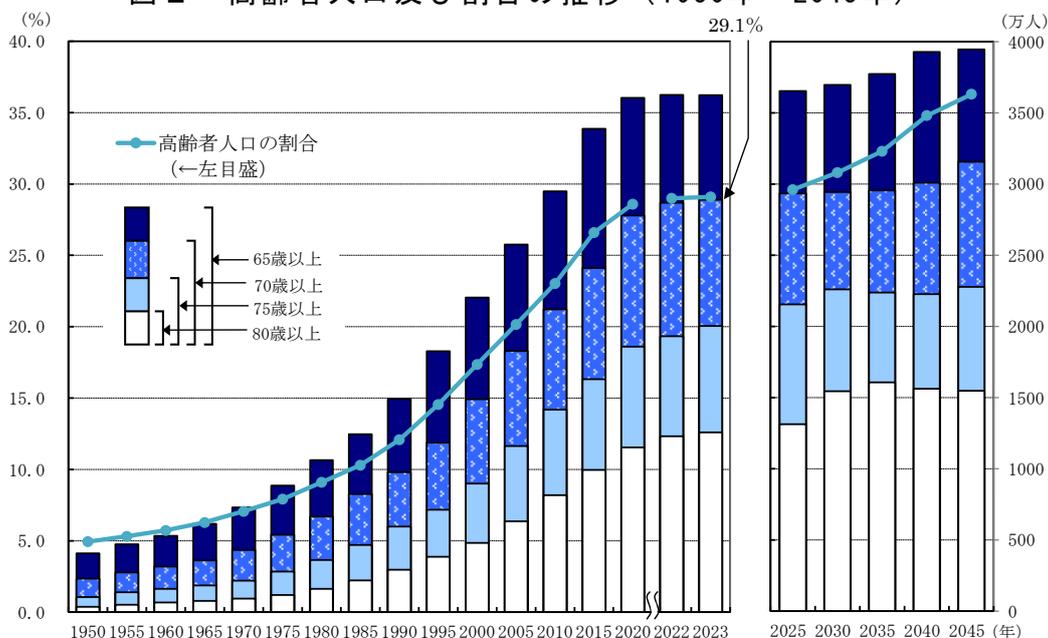


表2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2045年）

年次	総人口 (万人)	高齢者人口 (万人)				総人口に占める割合 (%)			
		65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上	65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上
1950	8320	411	234	106	37	4.9	2.8	1.3	0.4
1955	8928	475	278	139	51	5.3	3.1	1.6	0.6
1960	9342	535	319	163	67	5.7	3.4	1.7	0.7
1965	9827	618	362	187	78	6.3	3.7	1.9	0.8
1970	10372	733	435	221	95	7.1	4.2	2.1	0.9
1975	11194	887	542	284	120	7.9	4.8	2.5	1.1
1980	11706	1065	669	366	162	9.1	5.7	3.1	1.4
1985	12105	1247	828	471	222	10.3	6.8	3.9	1.8
1990	12361	1493	981	599	296	12.1	7.9	4.8	2.4
1995	12557	1828	1187	718	388	14.6	9.5	5.7	3.1
2000	12693	2204	1492	901	486	17.4	11.8	7.1	3.8
2005	12777	2576	1830	1164	636	20.2	14.3	9.1	5.0
2010	12806	2948	2121	1419	820	23.0	16.6	11.1	6.4
2015	12709	3387	2411	1632	997	26.6	19.0	12.8	7.8
2020	12615	3603	2779	1860	1154	28.6	22.0	14.7	9.1
2022	12496	3624	2869	1933	1232	29.0	23.0	15.5	9.9
2023	12442	3623	2889	2005	1259	29.1	23.2	16.1	10.1
2025	12326	3653	2934	2155	1313	29.6	23.8	17.5	10.6
2030	12012	3696	2944	2261	1544	30.8	24.5	18.8	12.9
2035	11664	3773	2955	2238	1607	32.3	25.3	19.2	13.8
2040	11284	3928	3009	2227	1562	34.8	26.7	19.7	13.8
2045	10880	3945	3157	2277	1548	36.3	29.0	20.9	14.2

資料：1950年～2020年は「国勢調査」、2022年及び2023年は「人口推計」

2025年以降は「日本の将来推計人口（令和5年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注1）2022年及び2023年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

2）国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補完結果

3）1970年までは沖縄県を含まない。

◆「人口推計」の詳しい結果は、次のURLを御覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索

日本の高齢者人口の割合は、世界で最高※

2023年の高齢者の総人口に占める割合を比較すると、日本（29.1%）は世界で最も高く※、次いでイタリア（24.5%）、フィンランド（23.6%）、マルティニーク（23.5%）などとなっています。

※ 人口10万以上の200の国及び地域中 （表3）

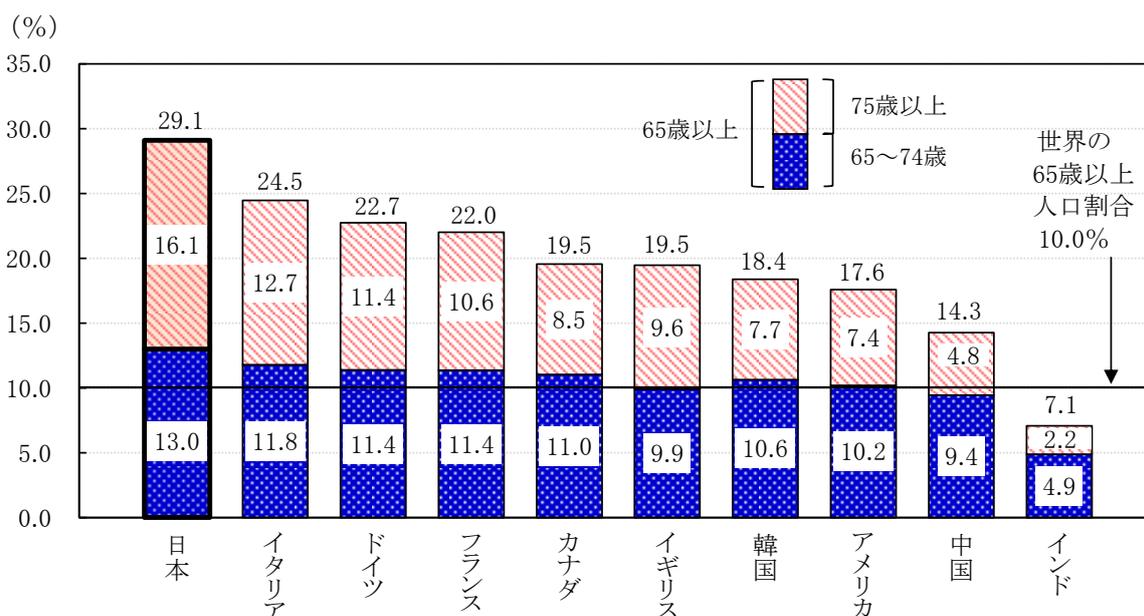
表3 高齢者人口の割合（上位10か国）（2023年）

順位	国・地域	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12442	3623	29.1
2	イタリア	5887	1440	24.5
3	フィンランド	555	131	23.6
4	マルティニーク	37	9	23.5
5	プエルトリコ	326	76	23.4
6	ポルトガル	1025	239	23.3
7	ギリシャ	1034	239	23.1
8	クロアチア	401	91	22.7
9	ドイツ	8329	1895	22.7
10	ブルガリア	669	149	22.3

資料：日本の値は、「人口推計」の2023年9月15日現在
 他国の値は、World Population Prospects: The 2022 Revision (United Nations) における将来推計から、
 人口10万以上の200の国及び地域の2023年7月1日現在の推計値

主要国における2023年の高齢者人口の割合を比較すると、65～74歳及び75歳以上の双方で、日本が最も高くなっています。 （図3）

図3 主要国における高齢者人口の割合の比較（2023年）

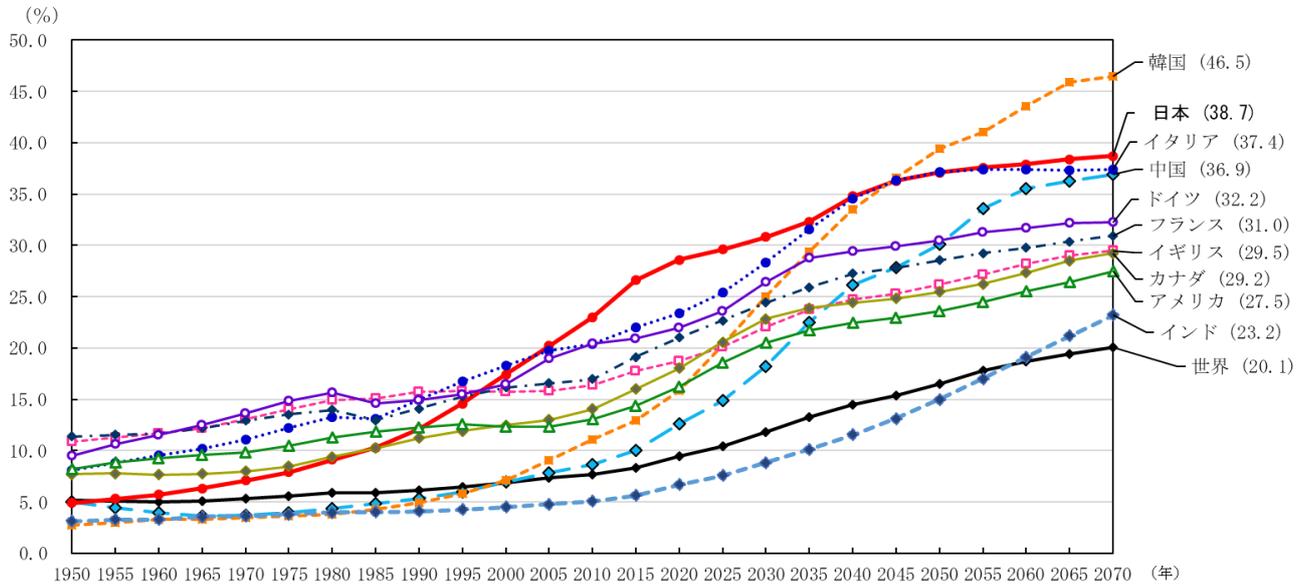


資料：日本の値は、「人口推計」の2023年9月15日現在
 他国の値は、World Population Prospects: The 2022 Revision (United Nations) における将来推計から、
 2023年7月1日現在の推計値

主要国における高齢者人口の割合の推移をみると、各国とも上昇傾向となっています。

(図 4)

図 4 主要国における高齢者人口の割合の推移 (1950 年～2070 年)



資料：日本の値は、2020年までは「国勢調査」の10月1日現在、2025年以降は「日本の将来推計人口（令和5年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）の各年10月1日現在の推計値
 他国の値は、World Population Prospects: The 2022 Revision (United Nations) 各年7月1日現在の推計値

◆詳しい結果は、以下のURLを御覧ください。

人口推計 : <https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

World Population Prospects : <https://population.un.org/wpp/>